

## ひかり福祉会事業計画

ひかり福祉会“経営理念”（利用者・家族の笑顔、地域の方々の笑顔、職員の笑顔を育む）や“めざすもの”に基づいた、実践・経営・運動を進めます。

### 1) 障害者施策の動向とひかり福祉会が取り組む運動課題

#### 1. 障害福祉サービス等報酬改定について

2006（H18）年に施行された“障害者自立支援法”以降、これまで3年ごとに報酬改定がなされており、この2018（H30）年4月の報酬改定では、各事業の報酬単価だけでなく食事提供体制加算を含め直接、障害のある方に影響を及ぼす内容が具体的な検討課題とされてきていました。結果的には、+0.47とプラス改定が提示されていますが、実質的には自然増分が賄えていないという報酬単価の減とされました。ただ一番の懸念材料であった食事提供体制加算に関しては、今回の報酬改定時での廃止とはならず経過措置の継続となりました。

今回の報酬改定でも障害福祉だけでなく社会保障全般に厳しいものとなりましたが、障害のある人にとって…また関係者にとっても安心できる報酬ではないことから「継続審議」が今後、障害のある人にとって悪い方向へ進まないよう情勢をしっかりと把握し、障害のある人が安心して働き、暮らせる実践と運動に取り組んでいきます。

#### 2. 「我が事・丸ごと」地域共生社会について

共生型サービス（我が事・丸ごと政策）の一環として、高齢者や児童、障害のある人への支援について「同一事業所で介護保険と障害福祉が一体的にサービスを提供する取り組み」、「障害のある人が使い慣れた事業所で継続して支援が受けられる」という観点の基、打ち出されましたが、蓋を開けてみれば「利用者主体」ではなく、「財政抑制（利用者負担の増）」であることが明確になってきました。

この間、さまざまな制度が作り出される中、誰しもが理想とされる理念・方針が打ち出される一方で、制度内容としては利用者主体ではなく財政抑制が根底にあることが多いため、しっかりと制度の内容を熟知し、障害のある人や家族と一緒に運動に取り組んでいきます。

### 2) 第5次将来計画最終到達と第6次将来計画の実施について

2017（H29）年度に、ひかり福祉会 第5次将来計画が最終年となり、新たに2018（H30）年度からは“第6次将来計画”の基、ひかり福祉会の事業を運営していきます。

第5次将来計画では、ソフト面（人材確保と育成・実践力の向上など）以外に、ハード面での課題が多く、事業所への報酬単価が低くなる中で整備に関しては未実施となった事業が多くありました。

現在、検討している第6次将来計画では第5次将来計画の積み残し課題となっている事業所の整備を最優先に考え取り組んでいくとともに、第6次将来計画の基本方針となる4つの柱（人材育成・機能分化・組織強化・財政再建）を中心にソフト面の強化を図りつつ、取り組みを推進していきます。

## 【ソフト面】

(1) 情勢をしっかりと学び、自分たちが果たすべき役割を明確にしていく。

- ①外部での研修に積極的に参加していくことで、法人・事業所での学習だけでなく、さまざまな視点（立ち位置）からの話しを聞き、学ぶ中で個々の視野・考え方を広げていく。
- ②外部研修に参加することで“外とのつながり”をつくり、交流を広げていく。
- ③知識の“学び”だけでなく、運動に参加することで、身体で“感じる（体験する）”。

(2) 実践から得たこと、学んだことを記録し、“書く力”を養っていく。

- ①研修で学んだこと、利用者を支援していく中で得た経験を記録し、全体で共有を図る。
- ②各事業所1本は実践を含めたレポートを作成していく。

## 【ハード面】

- ①彦根地域拠点整備事業の推進
- ②長浜里の家 移転事業の推進
- ③ひこねわたぼうしホーム・ひこねひまわりホームの統合移転
- ④長浜かざぐるまホーム スプリンクラーの整備

### 3) 具体的な方針（第6次将来計画 第一期計画）

社会福祉法改正にあたり、経営組織の見直しや事業運営の透明性を求められてきていることから、単に対応するだけではなく、組織として法の改正に対し専門的に検討ができる体制をつくり、障害のある人が地域で安心して働き、暮らせる支援ができる法人となるように進めます。

## 【事業運営】

### 1. 労働支援部

2017年度は、①HEART WORK 結の移転について、②食品表示について、③食事提供体制加算について方針を持ち、部会での検討を行ってきました。方針によっては圏域の違いや取り組む作業内容の違いもあり、参加しにくさが出ていたようにも思います。次年度は、労働に於いても様々にある事を踏まえ、参加しやすい方針・テーマを持ち、事業所の実情に沿った部会運営が出来るよう努めていきます。

また設立42年を迎えるひかり福祉会ですが、改めて「働く」事の意味や大切さを再度、見つめ直す時期が来ていると考えます。時代とともに障害者雇用が拡大する中、私たち事業所の役割はどのように持つべきなのか等、これまでとは発想も変えながら考えていく必要があるのではないのでしょうか。「働く」を通し達成していきたい事を明らかにし、その目的に向かい部としての活動としてしていきたいと思えます。

### 2. 生活支援部

#### ①働く障害者を応援するくらし

❖ホームでは働く力を再生産する居場所とし、自立に向けた支援の実施

長浜：里の家の移転事業の早期実現

彦根：二つの借家ホームを統廃合し移転実現

※必要ホームにスプリンクラーの設置

❖高齢入居者は介護保険事業所への円滑な移行をめざし、橋渡しを推進

## ②暮らしを支える担い手を育てる

- ❖日中・暮らしと多角的な視点に立ち実践をすすめる
- ❖常勤職員のホーム体験を実施、暮らしを支える力をつける

## ③生活介護事業所や居宅介護事業所と連携し、多様なサービスで利用者ニーズに応える準備としての検討

- ❖短期入所・日中一時・余暇支援などニーズに応えられる基盤を模索する

### 3. 相談支援部

#### ①人材育成（支援の質的向上）

- ❖相談業務における基本的な考え方を堅持し、当事者・家族と真摯に向き合うとともに、常に自己研鑽しながら丁寧な実践を重ねていくなかでスキルアップを目指す。
- ❖支援者のメンタルヘルス（メンタルサポート）を充実する。
- ❖専門性を活かせる業務として処遇面（資格手当）の改善を行う。

#### ②広域事業としての地域での役割

- ❖地域課題を把握・分析し、自立支援協議会の活動等を通じて、地域支援体制や社会資源・サービスの整備を検討していく。
- ❖多種多様・多職種さまざまな関係機関との共働・連携を強化し、その中での役割を遂行していく。

### 4. 居宅支援部

#### ①支援者（ヘルパー）の確保と育成

- ❖常勤ヘルパーの配置を基本として、支援体制の安定を図る。
- ❖利用者さんときちんと向き合える支援者となる。
- ❖長浜地域の事業拡大（現在の2倍）向け、常勤ヘルパーを中心に事業展開を行う。

#### ②支援者のスキルアップと支援者ケアの視点

- ❖スキルアップ（介護技術・対人援助技術の研鑽）を行うことでよりよい支援を提供する。
- ❖並行して支援者ケアの環境を整備する。

#### ③財政の安定と地域資源としての役割

- ❖事業を拡大することで、財政の安定化を図り、地域に安定したサービスを提供していく。

### 5. 環境改善部

#### ①財政健全化

- ❖第6次将来計画とリンクした財政計画・償還計画の作成
- ❖単年度赤字の解消
  - 短期的：定員の充足・出勤率の向上・日中一時の検討
  - 長期的：事業所の機能分化・強化・統廃合

#### ②職場環境の改善

- ❖情報の共有化・自己啓発・内部牽制の充実
- ❖5S活動の整備

## 【機能強化（専門委員会）】

### 1. 共育・研修・研究委員会

#### ①計画的な研修参加システムの構築

- ・サビ管、サビ提資格要件を満たすものの参加促進
- ・他分野研修への積極的参加

#### ②階層別研修プログラムの構築（グループワークを基本に、ともに学ぶ）

- ・新任（3、4、9月）、中堅（5月）

#### ③第37回法人研究集会の開催

- ・実践レポートを深める（1事業所1レポートの積み上げ）

#### ④マネジメント研修（全体研修）

- ・メンタルヘルス、ストレス等

### 2. 広報・情報・出版委員会

#### ①広報「かがやき」の編集・発行（年3回発行）

- ・VOL. 100号（5月発行予定）…2017（H29）年度での計画
- ・VOL. 101号（9月発行予定）
- ・VOL. 102号（1月発行予定）
- ・VOL. 103号（2019.05月発行予定）

#### ②ホームページの管理

### 3. 権利擁護・虐待防止委員会

#### ①ひかり福祉会「権利擁護ガイドライン」を全職員の規範とする。

- ・虐待防止を啓発・意識化するための研修の実施

#### ②苦情解決のしくみを理解し、周知する

- ・苦情解決責任者・受付担当者への研修実施

#### ③障害者権利条約の学習

- ・わかりやすく学べる講座の実施

### 4. 危機管理・災害対策委員会

昨年度は、1回しか委員会が開催出来ていませんでしたが、近年、災害が頻発していることから、もし災害に見舞われた場合、私たちはどのように行動すべきか把握・行動し、迅速な対応が求められます。その点を踏まえ、今年度は即応性と分かり易い災害時の行動計画の策定に努めていきます。

2018（平成30）年03月23日理事会

社会福祉法人ひかり福祉会

理事長 高橋 信二